



近畿納税貯蓄組合総連合会会長賞

3年生の服部雅子さんが、「中学生の『税についての作文』」に「税と私」という題で応募し、近畿納税貯蓄組合総連合会会長賞を受賞しました。右の写真は、11月21日(金)に朝来市和田山町で行われた納税表彰式の様子です。この表彰式では受賞作品の朗読も行われました。以下に内容を紹介しますのでどうぞお読みください。

“税とは何か。私は今まで税について深く考えたことはありませんでした。そんな私に税について考えるきっかけを与えてくれたのは、先月学校で行われた「献血教室」でした。

私は、小学4年生の時に、小児がんを患い、こども病院に半年間入院して治療を受けました。その際の約20回にわたる輸血は、実は税金が関わっていることを知りました。私は輸血を受けた際のありがたさを今でも覚えています。どんなに毛布にくるまっても寒くて仕方なかったのに、遠方から届いた貴重な血液が私の身体に入ると震えがおさまり、身体の中がじんわりと温かくなっていくのが分かるのです。ぐったりと起き上がることもすらできなかったのに、輸血の後は気力が回復していくのを感じました。輸血は多くの人の命を救う重要な活動です。そして、それが税金等によって支えられ、安定した血液供給が可能になっていることを知りました。このことをきっかけに、私は税が医療において、他にどのような使われ方をしているのかについて、もっと知りたいと思いました。

私は入院中、たくさんの医師や看護師の皆さんの温かい支えがありました。医師たちは昼夜を問わずベッドに駆けつけ、処置をしてくれたり、優しく声をかけてくれたりしてくださいました。税金があるからこそ病院の設備が整えられ、医師や看護師、その他の医療従事者の働く環境が維持され、患者が安心して治療を受けることができるのだと分かりました。

また、私がいた病院では、救急車やドクターヘリで絶えず患者が搬送されていました。救急車は緊急時に命を救うための重要なサービスです。税金による公的な支援があるからこそ、誰でも必要なときに救急医療を受けることができるということにも気づきました。

病院での治療には多くの医療費がかかります。しかし、小児慢性医療の支援を受けることで、私は医療を受け続けることができています。この支援も税金によってまかなわれています。調べていくうちに、税金がいかに私たちの生活に欠かせないものなのかを強く実感しました。

また、税金は医療だけではなく、教育や福祉など様々な分野で活用されています。私が今元気に学校に通うことができるのも、医療の充実や学校の運営が税金によって支えられているからです。日々の生活の中で当たり前のように感じることも、税金によって成り立っているのだと改めて考えさせられました。

税金は私たち一人ひとりが社会の一員として支え合うための仕組みです。将来、私も社会に出て働き、税金を納める立場になります。その時には今まで支えてもらった分を、今度は私がだれかの助けとなる形で返していきたいと思います。税金は単なる負担ではなく、私たちの命や未来を守るための大切なものです。このことを忘れずに、これからも感謝の気持ちを持って日々を過ごしていきたいです。”



列席者および川西教頭との記念撮影

やぶ・ふるさとキャリア教育

養父市教育委員会は、「ふるさと養父市を実感する活動、ふるさと養父市の先人に学ぶ活動、養父市の今をとらえる活動、養父市の未来に参画するための活動の4つの視点を踏まえて、地域の物的・人的資源を活用したふるさと教育とキャリア教育を組み合わせ、地域とつながり、ふるさと意識を醸成しながら地域に参画する力を小中一貫教育として高める。」ことを目的として「やぶ・ふるさとキャリア教育」を推進しています。令和7年度の養父中学校としては、その目的の達成のために以下のような取組を展開しました。

【1年生】青谿書院塾

7月9日(水)、江戸時代後期の学者であり“但馬聖人”と呼ばれた池田草庵(いけだそうあん)先生の私塾である青谿書院を訪れました。これは、市内の小学校でも実施されており、養父中学校1年生は、小学校4年生以来3年ぶりの訪問でしたが、当時作成した“そうあんくんの塗り絵”を提示していただき、懐かしそうにその作品を眺めている生徒の様子が印象的でした。「池田草庵先生は、周囲から『酒を飲みに行こう』と誘われた際、『自分の学問に対する姿勢が甘いから気安く酒に誘われるのだ。もっと学問を積まなくてはいけない』と考え、とことん自分に厳しい人であったようです。」という説明があり、生徒たちから思わず驚きの声が漏れていました。「筆硯整齊(ひつけんせいせい)」という言葉とともに、身の回りの整理整頓を説かれた池田草庵先生の私塾ということもあるのか、生徒の靴もきれいに整頓されていました。



【2年生】妙見山名草神社探訪

11月6日(木)、養父市の貴重な文化財である名草神社を訪問しました。同じ養父市内ではありますが、標高約800メートル地点にある神社ということで、養父中学校からかなりの時間を要してたどり着きました。まずは神主さんからの丁寧なご説明を聞かせていただいた後、各自で興味のある場所の写真を撮りながら散策をしました。山々の紅葉も美しく、半日という短い時間でしたが、とても素敵な時間となりました。江戸時代には、守護大名山名宗全や徳川幕府の庇護を受けて栄えた歴史を持ち、島根県の出雲大社から譲り受けた三重塔ならび本殿・拝殿の建造物3棟は国の重要文化財に指定されているようです。今回は事後学習として、名草神社をPRするポスターを作成します。生徒たちのふるさと養父市を愛する心が育つことを期待します。



【3年生】朝倉山椒から広がる探究

11月6日(木)、地元の特産品である朝倉山椒についての探究学習を行いました。畑特産物生産出荷組合と養父市産業環境部農林振興課よりお招きした講師から朝倉山椒の歴史や特徴について講話をいただいた後、栄養教諭の指導のもと、各班で朝倉山椒を使ったオリジナルメニューを考案する話し合いをもちました。さらに、11月14日(金)には、その考案したメニューを実際に調理し、ポスターセッション形式での発表や試食を行いました。見事グランプリに選ばれた料理は実際に給食メニューとして出してもらうことになりました。

